

第6次基山町総合計画策定のための 団体ヒアリングシート調査 まとめ

団体 I

問1 団体の活動の概要（主な取組など）

- 主にグラウンドゴルフを通じて、会員相互の親睦と健康・体力づくりに取り組む
- 氏林公園、多目的グラウンドでの練習や大会、研修旅行
- 区や町のグラウンドゴルフへの協力と参加
- 氏林公園の清掃、草刈
- 学童登下校見守り、区防犯パトロールへの協力

問2 団体の活動上の問題・課題

- 会員の減少(高齢化に伴う)ピーク32名から25名(令和5年は2名加入)
会員増(特に男性)への声かけが必要
- 高齢化により、草刈機の使用ができなくなり、草が伸び放題になることが多い(特に子供の遊具附近等)
- ※主会場の「氏林公園」について…要望
 - 12区外の子供たちも含めて、使用頻度の高い公園として施設の充実を
 - ①隣接町道も含め、排水が悪く、雨による使用不能日が増加→排水対策を
 - ②毎日の清掃で子供の遊び場としても多く使われているが、とくに遊具周辺の防草対策を
(実態は草ぼうぼう)
 - ③倉庫の地盤沈下対策
 - ④ベンチの充実、またはあづま屋の設置

問3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

- 高齢者や子供をはじめ、地域のみながくつろぎ遊べる各地域の「児童公園」の抜本整備を
- 各児童公園の利用実態を調査(おそらく大半は使われていないのでは)
- 各施設の総点検、更新、くつろぎの場の充実(あづま屋、ベンチなど)
- 防草対策(草ぼうぼうでは誰も寄り付かない)

問4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

問5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

団体 2

問 1 団体の活動の概要（主な取組など）

問 2 団体の活動上の問題・課題

高学年は、社会体育のため活動に参加できない。

問 3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

役員のなり手がいない。

問 4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

問 5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

子どもが使える施設を増やしてほしい。（プールなど）
（保育園跡地は何が出来るのか）

団体 3

問 1 団体の活動の概要（主な取組など）

12 区管内の防犯パトロール(土・日・祝以外の毎日 15:00～1 時間程度)
及び児童登下校時の見守り・声掛け

問 2 団体の活動上の問題・課題

○高齢化や夏場の高温化等により、年々参加者が減少し、常時パトロールに参加出来る方が 6～8 名になっている。また、女性の参加がない。
○朝の登校時は、参加者が足りているが、下校時が足りない。
*運営委員会の資料で参加の呼び掛けをしているが、何分ボランティア参加といった事から、無理強いも出来ず、今後の検討課題です。

問 3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

問 4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

住民みんなが「安全・安心して過ごせる町」で今後もあってほしいです。

問 5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

団体 4

問 1 団体の活動の概要（主な取組など）

12 区住民の参加による地域福祉活動の一環として、毎月 1 回公民館において、ふれあいいきいきサロンを開催している。

現在会員は、24 名おり、毎月のサロン活動で、各種のゲーム、オカリナ、ハーモニカ演奏、グランドゴルフ大会、小物製作、バスハイク等の行事を通して、和気あいあいとした雰囲気ですぐ互いの気持ちを支え合い、地域の高齢者同士の親睦を深め、絆を強めることに努めている。

問 2 団体の活動上の問題・課題

あつまろう会の出席者は女性が多く、男性は 5 名程である。男性高齢者は公民館サロンの活動を折り紙や小物作り、歌を歌うなどと決めつけて、「あんな幼稚園児がやるようことを大の男がやったりされるか」と、誘いを断る人が多い。

男性が好む囲碁・将棋・マージャン大会等を行事に加えれば、現在来ている女性会員が来なくなることが懸念される。

どのような地域福祉活動を行えば、一人でも多くの高齢者に集ってもらえるだろうかと悩んでいる。

問 3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

急速な少子高齢化の進行や核家族化、単身世帯の増加などによる地域社会の崩壊、世代間の断絶により、地域住民同士のつながりが希薄化し、昔であれば比較的容易に行われていた地域住民同士のまともなやりやつきを維持していくことが難しくなっている。例えば、高齢化のため各区において、組合長、会計、体育委員、子どもクラブ、青少年育成会などの役員になり手がいない。順番だからという、若い人は「では、区から外れます」という始末である。

問 4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

若い人にとっても、高齢者にとっても住みやすい町であることはもちろんであり、現在の松田町長の元で、プラチナ対策、子育て支援、移住促進、スポーツ振興、産業観光振興、まちづくり道路整備を継続して推し進め、みんなが「基山はいいなあ」「このまま基山に住み続けたいなあ」と思える町づくりを目指して欲しい。

問 5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

今、各地区には、空き家がたくさんあります。公民館の行事に行きたくてもその公民館までが遠くて、なかなか足を運べないという人もいます。空き家を利用して、または地域の一人暮らしで家を借りるなどして、近所の誰々さんの家では、冬はコタツに入って、春・夏・秋は縁側に座って「今日は何をやる」と集まった少人数が集う日常的な居場所を地域に作り、女性であればおしゃべりや編み物をしたり、男性であれば、囲碁・将棋、麻雀、カラオケ等、一人で過ごす時間を、気の合った数人の仲間が誘い合って集う「縁側サロン」を考えてはどうだろうか。今、地域には、人間関係の希薄化で寂しさを感じ、人との結びつきを求める人がたくさんいると思うのです。

問5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと（続き）

地区の一人暮らしの高齢者、障害者などの災害時要援護者については、日頃の隣近所の付き合いの中から災害時に助け合いができる仕組みを整える必要がある。

地区ごとに防災組織をつくり、日ごろの訓練が大切であるが、名ばかりの組織はあっても、防災組織としては全く機能していない地域も多いと思われる。

要援護者に関する登録情報は、町の防災担当課、福祉担当課で共有されるほか、申請者の同意を前提に区長、民生・児童委員、社会福祉協議会、消防署、消防団、地域避難支援者に情報提供されることになっている。

また、基山町地域福祉計画によれば、地域の見守り、声掛けなどの地域福祉活動の強化を図るため、地区ごとにおける福祉活動のネットワークづくりを進めることになっており、地域の民生児童委員の要請を受けて、福祉課の生活支援コーディネーター、集落支援員、認知症支援員などの方々が町内を訪問しているが、地域で起きている諸問題に対応しきれていないのが実情であり、もっと支援の手を増やす必要がある。

その方策として、各区の区長、組合長、民生委員に加えて、各区ごとに民生委員を補助する2～3人から4～5人の協力者を推薦してもらい、町がその人達を福祉協力員として委嘱を行い、民生委員と一緒にあって、地区の高齢者、障害者などの要支援者の定期的な戸別訪問、見守り声掛け活動等の地域の福祉活動を支援してもらう新たな制度を設けてはどうか。

団体 5

問 1 団体の活動の概要（主な取組など）

テーマは ニ丁目コミュニティ道路を「憩い・癒し・ふれあいのある豊かな空間を作る」

1. 愛花クラブ会員 18 名にてコミュニティ道路の花壇作りをする
2. 四季を感じる花と緑の豊かなロードにする
 - ①アジサイをメインに、四季に応じて花苗の植え付け
 - ②春はビオラ、夏・秋はマリーゴールド等をメインに、季節に応じた宿根草・球根を植え付け

問 2 団体の活動上の問題・課題

◆継続的な資金(予算化)支援が必要(難しい条件なしで)

1. 現在、基山町まちづくり基金を申請し、花壇作りをしているが、基金は原則 3 年間で終了するが、毎年花苗・花壇用資材(腐葉土・肥料等)等で、最低 10 万以上はかかるため花壇作りを継続できなくなる。

継続的なコミュニティ道路の景観を維持するためには、継続的な資金支援が必要

- ①ニ丁目愛花クラブ発足の背景 町が管理のコミュニティ道路の植栽場所(花壇)は町が植栽の剪定・草取り等を年 2 回位するが、それでも雑草だらけになり、ゴミのポイ捨て・犬の糞尿の場所になり、ニ丁目近隣の住民の方が自発的(ボランティア)に自費で花苗を植え、花壇づくりをしていました
- ②愛花クラブは花壇作りの方々をグループ化し、自治会より予算を頂き活動したのが背景です
・ボランティアにより町の景観が維持・推進され、また予算が少なく済み、良いことだが町はあまり条件を付けずに、積極的・継続的に資金支援をすべきだと思います。

◆愛花クラブの会員は高齢化が進み、継続性を考えると若返りが課題になると思われる

*花壇作りは作業や会員同士の親睦・コミュニケーションで健康管理に繋がっているが…

問 3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

◆けやき台の街路樹・生垣を維持するためには、インフラ整備を積極的に行ってほしい

・けやき台は緑豊かな街です。中央道路のけやき並木・周回道路のつつじの生垣・1・3 丁目コミュニティ道路のさくら並木・けやき台各公園のさくら等、緑豊かで人気の高い街です。

・けやき台も高齢化が進み、今後次世代の方への世代交代が考えられますが、その為には現在の緑豊かな人気の高い街を維持・進化させ、世代交代をスムーズ(移住)に図る事が必要

1. けやき台には街路樹(けやき等)・生垣(つつじ・さつき等)が枯れたりし、伐採され、またつつじ等は枯れて剥げ状のままの場所がある。新しい苗木を植え修復し、景観の維持が必要。
2. けやき台コミュニティ道路の植栽には、品種(植樹の名前等)・特徴を書いたプレート(看板)が立っているが劣化し、プレートが読めなくなっている為、張り替えが必要。

◆基山町も街路樹・総合グラウンドのさくら並木・役場の通りのさくら等緑豊かで綺麗な街だと思うが、老木化し、今後は心配だが、町が積極的に維持・管理しているように思われない。

・町が人も自然も街並みも老齢・老木化が進んでいるように思う

・基山町として、町の景観維持・活動をどのような方針・考え方でしているのか見えない

◆佐賀県は水道のインフラ整備が全国ランクで低い位置づけだが基山町は大丈夫か

災害時に水道が止まった時のために、最低役場の避難場所にハイブリット井戸を整備してはどうか

問4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

◆自然豊かで魅力ある、機能的なスモールシティをめざし、活性化した街をめざす

- ①自然と緑豊かな綺麗な街づくりをし、若い方の移住促進をする
- ②機能的な街づくりをめざし、区画整理を明確にし、防災・防火に強い安全・安心な街づくりをする
- ③防災(土砂崩れ等危険地域)・水道・ガスのインフラのためにも、スモールシティをめざす
- ④既存の観光資源の・大興禅寺・基山(基肄城)・散歩道・キャンプ場等を総合的に連携し、相乗効果を発揮した魅力づくりをする

◆基山町を花と緑の街として、魅力づくりを図る(ふるさと納税の資金活用を検討)

- ・基山(きざん)・休耕地・散歩道を花と緑の街づくりに活用する
- ・樹木・花苗管理はコスト(剪定・植え付け・草取り作業等)が比較的安く、魅力づくりが可能
- ・基山町の緑化事業者の活性化に繋がる

問5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

◆基山町はJRの駅がけやき台と基山駅と2駅あり、福岡市に通勤するベッドタウンとして、また高速道路は鳥栖インターに近く、福岡・大分・熊本と九州全域に旅行・物流等の交通便が良く、大変便利な場所に位置する

◆基山町は大興善寺を筆頭に、街路樹のけやき並木が中央道路をつらぬき、役場の通り・総合グラウンドの桜並木・けやき台の公園の桜等、さくらの名所が点在し、緑豊かで綺麗な街です

◆このように交通便の良さ、町の施策、緑豊かな街づくり等にて、街の幸福度自治体ランキング 2022 年2年連続 NO.1=佐賀県版=を獲得しました

1. マスタープランには「公園・緑地 3. 緑豊かな市街地の形成」との施策になっている

- ①まず、現在の街路樹等、樹木・植樹等を維持・管理し、積極的に景観を守ってほしい
・今後、老木化し枯れるケースもあるが、枯れた場合 新しい苗を植樹し、景観を守る
- ②街路樹・緑地は昨今の温暖化対応として、気温上昇を下げる効果があり、積極的に維持すべき
・街路樹は散歩・通勤・通りがかり時、日陰になり、熱中症対策にもなる。また強風を防ぐ効果も
・緑地(花壇・生垣)は、土による気化熱の効果で住宅地・路面の気温上昇を防ぐ効果がある
- ③緑豊かな街づくりに、ふるさと納税の活用はできないか

2. 基山町都市計画マスタープランによれば、土地利用方針の住宅エリアを設定していることは将来的に人口増を図るために、大変良い施策だと思います

- ①ただ確認ですが、住宅エリアに対する区画整理はされていますか。
・現状、農地の住宅化で分譲されているのをよく見かけるが、道路が旧住宅地の道路と繋がらず、袋小路化しているのを見かけます。
・このような状況では、防災・防火等、機能的で安心・安全な街づくりに疑問を感じる。
・基山町の道路は、基幹道路から一歩中に入ると旧農道を活用し狭く、生活道路としても問題あるように思う。基幹道路・生活道路(通学路等)・避難道路を区画整理し明確にする
- ②将来的に、基幹道路を基本に、目指すべき道路の区画整理を描き、少なくとも住宅エリアの道路・緑化・公園等の住みやすく、防災・防火に強い安全・安心な街づくりをしてほしい
- ③災害時の基幹避難場所、役場に行く道路を最短になるよう優先的に区画整理すべき

3.スモールシティをめざす

- ・山間部の危険地域から町営住宅を活用し移住を推進し、水道・ガスのインフラの削減を図る

4.既存観光資源を総合的に連携し、相乗効果を狙った魅力づくりをする

①基山(基肄城等)は、登山・散歩道として人気のある山です

- ・基山の道路にさくら(山桜)を植え、吉野山のさくらやいろは坂(日光)の紅葉のように桜を楽しみながら登山・散歩できる道路にし、桜を観光資源化する
- ・役場への主要道の桜並木や総合グラウンドの桜等を発信し、「さくらの街基山町!」を展開する

②散歩しながら、四季の花を楽しめる散歩道にする

- ◆基山町の散歩道に、四季の花が咲く花壇及び花園(はなぞの)を作り、魅力化する

- ・散歩道に花壇を配置、また途中の休耕地を利用し、福岡麒麟ビール工場のコスモス園のような花園を作り、「散歩するなら基山町で!」を展開する

*現在、散歩道としては素朴な田舎道としては良いが、ただ歩くだけで楽しみがない

③キャンプ場をバーベキューも家族で楽しめる憩いの場所にする(アウトドアブーム)

- ◆キャンプ場下の棚田(休耕地)を「花いっぱい棚田」に活用し、相乗効果を狙う

- ・キャンプ場に行く道路を最低2車線に拡げる。(現在、一車線で家族が行くには危ない道路)
- ・現在のキャンプ場を大勢を呼べる広さはないがバーベキューも楽しめる施設にし、町民の家族が楽しめる憩いの場所にする(帰省時に行きたくなる楽しめる場所に)
- ・バーベキューは、佐賀牛・イノシシ鍋・エミュー・菊芋等美味しい特産品等用意し、リピートで呼べる魅力ある施設にする
- ・「花いっぱい棚田」を散歩道・登山のルートに活用し、相乗効果で魅力づくりをする

団体 6

問 1 団体の活動の概要（主な取組など）

10 区通いの場は、平成 29 年 4 月の発足です。令和 6 年で 8 年目を迎えます。町の担当課から開催要請を受けたのは、10 区が町で高齢化率が 1 位であり、それでは 10 区が「健康年齢が 1 位になろう」と決めて、各区公民館活動の通いの場の開催は最初に始めました。

現在 10 区の通いの場の会員数は 40 名が登録されて、毎週木曜日の開催時には平均で 25 名が参加されています。

参加者の最高齢者は 96 歳の女性で、通いの場に来るのが楽しいと言われます。10 区通いの場では、高齢者の引きこもり防止のため、会員のロコミのお誘いで、徐々に参加者も増えています。

また、認知症の方の見守りも、助け合いの精神で地域活動として頑張っています。

問 2 団体の活動上の問題・課題

1. 10 区通いの場の参加者は、ロコミ等で増加はしていますが、男性の参加がありません。現在 2 名の参加です。3 月から 1 名の男性の参加が見込まれています。他の区の場合も男性の参加者の増加が課題であるのは、10 区と同じです。

2. 100 歳体操、レクリエーション等の指導者（基山町介護予防サポーター）の後継者の育成を行っていますが、「基山町介護予防サポーター養成講座」の受講者の応募が少なく、1 回の募集定員 15 名ですが 4~5 人の様子です。

10 区も現在のサポーター活動は 4 名で行っていますが、内 3 名は後期高齢者です。後継者が誕生するのを待っている状態です。

問 3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

基山町各区の通いの場におけるサポーター養成講座に応募者が少ない。

担当課も町広報で募集の案内は行われていますが、なかなか集まらない。

介護予防サポーター養成講座の参加者増加が課題です。

問 4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

1. 高齢者の一人住まい、二人住まいの対象者の増加傾向が続く中で、自助努力者のサポート体制の構築の支援の強化。

2. 地域自治会組織の共助体制の支援を行う。

3. 公助としての健康面、認知症のサポート、買い物難民支援、交通弱者への支援

問 5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

1. 2025年には、65歳以上の高齢者5人に1人は認知症になるといわれています。高齢者が安心して住みなれた場所で暮らしていける社会、基山町をつくってほしいです。

現在、町は以上のことを取り組んでもらっている事は承知していますが・・・

2. 認知症サポーターステップアップ講座の受講者も少ないようです。多くの方の受講で、認知症の方の手助けが必要です。

団体 7

問 1 団体の活動の概要（主な取組など）

社協のサロン活動、10 区として 10 年以上前から活動。老人クラブ解散のあと、その受皿ともなっている。女性が多く、月一回の例会を楽しんでいる。

社協の指導のもと、年間計画をたてる。出前講座等、社協から謝礼が出る。区独自の計画もできて、参加者は楽しみにして出席している。

問 2 団体の活動上の問題・課題

女性の参加者が多く、それにともない女性好みの催しとなり、男性の参加がほとんどない。10 数年間、私が協力員をしている。交代したいが、人材がいない。60 代の人はまだ現役で仕事をしている。70 代はもう年だからと、そして車の運転をしない人が多く、協力員をしてくれる人が居ない。

問 3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

サロン活動と共に、健康体操「通いの場」のお世話をしているが、これらの催しには参加するが、行政区の組長や各委員に対しては、高齢を理由に当番が回ってきても断る人が多くなってきているように感じる。夜の会合で、夜道を公民館まで行くのが困難とのこと。高齢化に伴い、役員ができる対象者が減ってきている。

問 4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

元々、基山町は高齢化が進んでいるが、活気ある町だと感じている。人口をこのまま維持して（それが難しいことだが）子育てしやすい高齢者がこの町で暮らし続けたいと思える町の追求。周囲との接触が少ない高齢者、8050問題をかかえる世帯等、どうとり込むかが問題

問 5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

よりよい町になるための施策や町民参加での協力体制は、それなりに出来ていると思う。現役の若い人たちが今後どうまちづくりに関わってってくれるか町政に関心を持ってくれるかを期待している。

団体 8

問 1 団体の活動の概要（主な取組など）

町内・町外のミュージシャン・スタッフ・サポーターによって、ポスターやチラシの作成と配布、SNS による宣伝、楽器や機材の準備、フェス会場の設営・運営などを行っている。また、フェスをきっかけにつながった音楽愛好家たちと毎月定期的な音楽イベントを開催するなどの発展的活動も行っている。

問 2 団体の活動上の問題・課題

出演者もスタッフも交通費支給だけのボランティア精神で私たちの活動に協力してくれているのは感謝であるが、昨今の稀にみるインフレ状況下においてガソリン代の高騰（実際、協力者は自家用車使用が多い）、公共交通機関の値上げなどがあるため、それに応じた補助金の増額（暫定的でもよい）を検討して欲しい。

問 3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

基山町には音楽愛好者が多く、実際に楽器を演奏する方も多い。しかし、町内には音楽を練習する専用の公共施設がない。役場に問い合わせると、町民会館のリハーサル室と小ホールを提示された。しかし、リハーサル室はダンス練習が優先であるということで専用ではない。小ホールはオーケストラやブラスバンドの練習であれば向いているが、そもそも基山町には町民オーケストラや町民吹奏楽団などはない。そして、少人数のバンド形態の音楽を練習するには不向きである（音楽スタジオを参考にされると一目瞭然）。フェスや音楽イベントを通じて多くの町民から少人数のバンド形態で大きな音を出して練習できる場所が欲しいという声が上がっている。スポーツ関連の施設は町内に複数ありスポーツ愛好者にとっては充実しているのに比べて、音楽スタジオ（練習場）が一つもないのはあまりにも予算配分が偏向しているのではないだろうか。松田町長の「基山町を音楽のあふれる町」にしようというスローガンを絵に描いた餅に終わらせてはいけない。

問 4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

「私は基山生まれ基山育ちの基山っ子です」と他所で胸を張って言えるような町づくり。

問 5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

基本的には現在の松田町長が打ち出している政策をひとつひとつ確実に実行するように役場が動いてほしい。

団体 9

問 1 団体の活動の概要（主な取組など）

町の情報を視覚障害のある方や高齢者等に、耳から伝達出来る様、音声を CD 化してお届けする

問 2 団体の活動上の問題・課題

- ・会員の減少、高齢化
- ・CD を聞いていただく方(利用者)が増えない
- ・広報を通じて講習会のお知らせをしているが、参加者が少ない

問 3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

町の広報紙を町民の方はあまり読んでいないと感じる

問 4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

天災等のもしもの時の為に、近所の方と声かけ等、話しあっておく事が大切（身近な関係を常に）

問 5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

団体 10

問1 団体の活動の概要（主な取組など）

いこいの家：折り紙、折り方指導
イベント時：人手不足の際、受付などの手伝い
図書館：お知らせボードに飾る折り紙を作成（毎月）
福祉交流館の折り紙に参加
仲間間の折り紙 自主練習
要望あれば、サロン等の折り紙指導（最近はない）

問2 団体の活動上の問題・課題

いこいの家の折り紙の時、指導を行っているが、最近（コロナ以降）参加者が少ない。
サークル会員も人員も少ないが、年齢も高くなり、いつまで続くか。

問3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

問4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

問5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

団体 II

問1 団体の活動の概要（主な取組など）

年間作業 ゴミカレンダー 点訳
年間カレンダー（8部 小・中学校・図書館・役場など配布）
毎月 広報 点訳 記事抜粋（役場・町民会館配布）
小学校 総合教育 点字教室 小4年生対象 各クラス1時間（年1回）
選挙時 候補者氏名点訳（町長選・町議選時）

問2 団体の活動上の問題・課題

- ・会員が増えず、現在4名で活動している。募集しているが難しい。
- ・必要としている人を知らせてもらえない（対象者） プライバシーのため。
- ・今後、小学校の総合教育、選挙時に支障をきたす。
- ・会員も高齢化し、（90代、80代、70代）このままでは存続は難しい。

問3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

問4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

問5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

団体 12

問1 団体の活動の概要（主な取組など）

- ・5月 総会
- ・毎月 第2木曜日 活動会
- ・随時（年8回）役員会
- ・10月・11月 研修会
- ・3月 親子研修会
- ・12月 慰問

問2 団体の活動上の問題・課題

会員の皆様も年々高齢になられ、活動に参加されるのが厳しくなっています。若い新しい会員の方が入会されるよう、発信していきたいと思っています。

問3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

通常、基山町社会福祉協議会のボランティア室で活動していますが、土・日は休みで集まることが出来ません。また、共有部屋の為、荷物を最小限にしか置く事が出来ず、活動の度に持参しています。ボランティア室は無料で利用させて頂き、大変感謝しております。

問4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

障がいのある人が住みやすい町は、障がいのない人にも住みやすい町だと思います。

問5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

高齢に伴い、免許証を返納したいが、地域(特にバイパスから山の方)によっては、交通手段がなく返納できないようです。
福祉バス・福祉タクシー等の充実を実現するために、まずは該当者の現状を聞かれ、対策を考えてはいかがでしょうか。

団体 13

問1 団体の活動の概要（主な取組など）

社協事業（サロン等）の下準備
・サロンで使用するキットの仕分け
・高齢者運動会、文化祭のお手伝い

問2 団体の活動上の問題・課題

特になし

問3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

グループ加入メンバーの減少
若いメンバーが少ない（就労年齢が延びたため）

問4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

山、畑、住宅のバランスがとれた自然豊かな町

問5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

高齢者にやさしい町

団体 14

問1 団体の活動の概要（主な取組など）

毎月のレクリエーション勉強会
立ち寄りサロン（レクリエーション）

問2 団体の活動上の問題・課題

他の活動と重なること（社協・役場）

問3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

・高齢化
ボランティアも高齢化している。定年延長で仕事をしているので、ボランティア不足。

問4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

子ども、ひとり暮らしは大事にされている。もっと、全体で使うものを作りたい。
先日の音楽祭のような取り組みは良いが、時間が長すぎた。受付時間から最後まで長い。

問5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

ほったらかしの土地、空き家、不明な土地の対策
竹酢は今もあるが、透明なものを作ってはどうか。
ライチ・エミューも良いが、トマトが長野まで買いに行けない。町の中で売ってほしい。

団体 15

問1 団体の活動の概要（主な取組など）

- ・毎月第一木曜日の定例会
- ・各地区のふれあいサロンへの協力
- ・年1回県内外への見学

問2 団体の活動上の問題・課題

- ・会員全体が高齢となり、退会される人もあり、新しい会員さんの加入を願っています。

問3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

- ・社協の行事と、町の行事が重なっている時があり、町と社協は日時の話し合いや連絡は取っていないのではないのでしょうか。私達は、どちらに参加するのか迷います。

問4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

- ・高齢化が進んでいると思います。若い人や子供達は宝物ですが、高齢になっても、色々な専門講師の方のお話を聞かせて頂けたら幸せです。出来たら、近場の地区公民館での講演は無理ですか。

問5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

- ・災害の時の対応について。
- ・コミュニティバスの運行について。

団体 16

問 1 団体の活動の概要（主な取組など）

基山町の 17 ある各自治区の垣根を超えて、基山小、若基小、基山中学校の帰宅路の途中に、防犯パトロール中と表示した自家用車を止めて、防犯活動中の表示をした帽子、腕章、ベスト等を着用した男ボラ会会員が、下校する子ども達に「こんにちは」「おかえり」と声を掛け、見守りによる防犯活動を行っている。また、基山町から委嘱を受け、青色回転灯を装備した自動車を使用して、町内の防犯パトロールを行っている。

問 2 団体の活動上の問題・課題

男ボラ会発足当初は、60、70、80 歳代の定年退職をして、暇を持て余している男性 15 人が集まり、防犯活動、高齢者施設における傾聴活動を始めたが、発足から 10 年が経ち、会員の半数以上が病気や体調不良を理由に脱会し、現在は 70 歳以上の会員が 6 人となった。

現在は、年金支給年齢の引き上げに伴い、70 歳を過ぎて現役を退き、これからやっとな自分のための余生を楽しもうという人たちが増え、以前のように気力、体力を持て余し、地域のために何かボランティアでもしてみようかという人はおらず、男ボラ会も新規会員の加入は 5 年ほど前から途絶え、現在の会員を維持していくのがやっとなであり、活動内容も高齢者施設での傾聴活動までは手がまわらず、下校時の子供たちの見守りと、青パト乗務による町内の防犯パトロールを行うのがやっとなの現状である。

問 3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

青パトを運転して、町内各区を巡回して特に感じるのは、一部の区を除き、ほとんどの区の公民館において、まったく「ひとけ」がなく、いつ見ても閑散としていることである。せっかく各区に公民館が設けられているにもかかわらず、その公民館がうまく活用されていないのは残念である。

問 4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

若い人にとっても、高齢者にとっても、住みやすい町であることはもちろんであり、現在の松田町長のもとで、プラチナ対策、子育て支援、移住促進、スポーツ振興、産業観光振興、まちづくり道路整備を継続して推し進め、みんなが「基山はいいなあ」「このまま基山に住み続けたいなあ」と思える町づくりを目指してほしい。

問 5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

超高齢化時代を迎えようとしている現在、お年寄りが集う場所として、各区にある公民館が、十分に活用されていない現状を鑑み、国道 3 号線の東側の 5 区か 8 区あたりに、現在の多世代交流館憩いの家と同様に、教養や趣味の幅を広げたり、生きがいづくりや健康づくりなどに役立てるためのサロン活動、サークル活動、講座、教室などを開催し、誰もが気軽に立ち寄れる施設を設け、現在の憩いの家を西部コミュニティセンター、新たな施設を東部コミュニティセンターとしてはどうだろうか。

問1 団体の活動の概要（主な取組など）

月一回（金曜日）の午前中に集まり、絵手紙を書いています。

問2 団体の活動上の問題・課題**問3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題****問4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか****問5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと**

- ・火葬場の改築を求める
- 各町内の役員が高齢化の為に負担になっている
- ・葬儀場の数を増やして欲しい
- (コスモホールで家族葬のできる部屋を増やして欲しい)

団体 18

問1 団体の活動の概要（主な取組など）

少年野球チーム（小1～6年生の男女）

火・木 17:00～19:00

土・日 9:00～15:00

若基小グラウンドにて野球の練習を行っている

問2 団体の活動上の問題・課題

・広い若基小のグラウンドで日々野球の練習ができることに感謝しております。

・広場や公園などで、キャッチボールなどが出来ない場所が全国的に増えていく中、校庭の利用ができることは基山町の良い所だと思います。

近隣住民から、子どもの声やボールの使用等について様々な声があがっていると思いますが、子ども達が大きな声を出して、思いっきり遊んだり、スポーツをできる環境は維持して欲しいです。

問3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

問4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

・子育て世代の移居が増えてきていますが、保育園や学校、放課後児童教室の先生達の負担が大きく、また支援が必要な子ども達も増えてきている為、子どもも先生も安心して学べて遊べる環境を、保護者の協力も得ながら作ってってもらいたいです。

問5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

団体 19

問1 団体の活動の概要（主な取組など）

- ・毎週金曜日の10:30～12:00で活動
- ・自由遊びや消防見学、ハロウィンパーティー、クリスマス会等自分達で活動内容を決めて活動している。
- ・同年代の子供達やその親子さんとのコミュニケーションの場や、親同士で子育ての悩みを相談したりする場にもなっている。

問2 団体の活動上の問題・課題

- ・年会費 500 円（1家族）と歳末たすけあい事業の支援金で活動をしているが、最近の物価高でなかなか活動資金のやりくりが大変になっている

問3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

- ・基山総合運動公園の遊具を改善して欲しい。小さい子（未就園児）が遊べるものがない。
- ・基山保育園みらい館で活動させてもらっているが、子供達が自分で道路や駐車場に出やすいので、何か対策をして欲しい。

問4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

- ・子育て世代が増えて欲しい。

問5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

- ・子供を育てやすい町づくりをして欲しい。

団体 20

問1 団体の活動の概要（主な取組など）

人形劇や紙芝居、パネルシアター、エプロンシアター等を手作りし、育児サークルや、保育園、図書館のイベント、支援センター等で出張お話し会を実施している。

その他、第2金曜に図書館で未就園児対象の親子に、絵本のよみきかせ会の実施、また、こども課からの依頼を受けて、「ピカピカの1年生事業」の実施のため、町内幼稚園、保育園、小学校への出張も行う。

問2 団体の活動上の問題・課題

- ・スタッフ減少により、活動を広げることができない
- ・作品保管（現在は若基小3階 図書館倉庫内）

問3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

若い世代は仕事や子育てに多忙で、ボランティア活動に興味を持てないように感じる。
小さな子どもの頃からの体験活動の機会が少ない様に感じる。

問4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

人と人との関わりが面倒くさいとか、お金にならないとか、休みの日は家にいたいとかマイナス思考に向かわず、楽しい時間、いい話が聞けた、今度は自分もやってみようとか、プラス思考に向かうまちづくりを。

問5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

- ・図書館司書の増員(正規)
- パート職員で人数は足りている様だが、専門性の高い正規職員の必要性を感じている。

団体 21

問 1 団体の活動の概要（主な取組など）

図書館が町民のニーズを反映し、利用しやすく、過ごしやすいコミュニティ空間施設となるように、図書館職員との協働で支援していく。

- ・毎月1回 草とりボランティア活動
- ・夏休み等、子どもむけ体験イベント実施
- ・開館記念イベント（4月）コンサートやワークショップの支援
- ・竹あかりナイト（10月）イベント支援
- ・図書館だより原稿作成、小学校等への配布
- ・毎月1回、図書館職員を交えた運営会議の実施

問 2 団体の活動上の問題・課題

スタッフの減少、高齢化

問 3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

問 4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

移住してくる方が基山町になじんでもらえる町。

除草作業や運動会、子ども会、組合等に積極的に参加してもらいたい。

問 5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

若い世代の図書館離れを感じる。基山町立図書館は十分魅力的だと思うが、図書場で著名な方をおよびするとか、展示会をするとか、開館時間を19時までにするとか、方法は色々ある様に思う。しかし、それら企画・実施するためのマンパワーがない。私達が支援したくとも、企画が生まれないのならできない。人員増により、企画を充実させてもらいたい。

団体 22

問1 団体の活動の概要（主な取組など）

月1回、多世代交流センター憩の家で活動。利用者は8割が高齢者で、主に遺影として使われる写真の撮影を行っている。残りの2割は、家族写真の撮影。2019年6月にスタートし、今年で5年目。これまでに60人以上が利用した。他のサークル活動のため憩の家に来ていた方やロコミでの申し込みが多い。申し込み条件は町内在住か、基山町が大好きな人。一人で車等により撮影に来る方が多い。参加費2千円で撮影データを渡す。額に入れる等は実費対応。3、4年前から、基山町の花嫁式では希望者（約10組）の撮影を行っている。メンバーは、カメラマン2人（趣味）、メイク担当1人（プロ）、アシスタント2人（笑顔にする担当）の計5人。まちづくり基金を3年間活用し、機材を購入。

すまいるフォトボランティアの活動とは別に、15区の新小学1年生の写真撮影も行っている。

高齢者、新小学1年生の撮影ともに、写真を渡す際に喜んでもらえるのが一番嬉しい。

問2 団体の活動上の問題・課題

当初は月に4人の撮影で9か月待ちであったが、現在は月に3人の撮影で1〜2か月待ちと利用者が減ってきている。申し込み者がなくなるのではないかと危惧している。メイクと撮影後の写真選びに時間がかかる。PRの仕方が課題。撮影した写真をSNSに掲載するため、事前に利用者の了解をいただく必要がある。4、5年前は新聞に掲載されたり、テレビに取り上げられたりした。

ボランティアを始めた頃、町内の撮影スタジオが休業中であったが、現在は再開されており、ボランティアと商売の分けも必要。

メンバーから高齢者施設に出張撮影に行く提案もあったが、機材を持っていけない、撮影しても写真の利用をされないのではという理由から、断念した。

問3 団体の活動を通じて感じている基山町の問題・課題

問4 基山町は、今後どのようなまちを目指すべきか

問5 基山町がよりよいまちになるために、今後、町が取り組むべきこと

けやき台は当初、高額納税者が多かったが、高齢者が増加してきており、現在は納税額が減ってきている。高額納税者の転入が必要。基山町の魅力は、交通の便が良いこと。高速バスや飛行機を利用すれば東京への移動も便利である。けやき台から高速バス、飛行機を利用すれば、当日の朝に家を出て、東京都港区の職場に出勤できていた。

けやき台を購入するか検討する際に、近所の人々がほぼ町外からの転入者であり、お付き合いの距離感がちょうどいいのも魅力であった。数軒の土地の分譲であれば、すでにコミュニティが作られており、後から入っていくのは難しい。大規模（30〜50軒）な住宅分譲地の方が、魅力的で転入しやすい。都会の人を基山町に呼ぶのであれば、都会の環境を作る必要があるのでは。筑紫野市や小郡市より地価が安いのも魅力であった。

現在、けやき台で空家になっていても、売りに出さない人が増えているように感じる。